

令和5年度 環境測定分析新任者研修会アンケート集計結果

1. 研修内容

開催日時 : 令和5年6月22日(木)、23日(金) 各13時00分から16時55分まで
開催方法 : Zoomによるオンライン形式((一社)愛知県環境測定分析協会事務局)
受講者 : 27名 (参考:R4 33名、R3 31名、R2 33名、R1 47名、H30 31名) *R4はオンライン開催
アンケート回答数: 26件 (回答率: 96%)
プログラム : 以下の通り

表1. プログラム

6月22日(木) 1日目

時 間	内 容 (講師等敬称略)
13:15 ~ 13:25	開会挨拶 (一社)日本環境測定分析協会 中部支部 支部長 (一社)愛知県環境測定分析協会 会長 大野 哲
13:25 ~ 14:25	I. 環境計量の仕事とは 講師 一般財団法人東海技術センター 経営戦略室 参事 菊谷 彰
14:35 ~ 16:50	II. 精度良い測定のために 3. 分析技術 -機器分析- 4. 検量線と標準物質 5. データの取り扱い 講師 株式会社環境科学研究所 品質保証部 技術支援室 室長 牧原 大

6月23日(金) 2日目

時 間	内 容 (講師等敬称略)
13:10 ~ 15:20	II. 精度良い測定のために 1. サンプルングの基礎 2. 分析技術 -化学分析- 講師 株式会社テクノ中部 環境事業本部 測定分析センター スタッフ副長 判治 寿高
15:35 ~ 16:45	III. 労働安全衛生 講師 株式会社大同分析リサーチ 環境測定センター 環境専門部長 新谷 良英

2. アンケート調査

2-1. 別紙にアンケート調査票を示す。

調査票は受講者全員(26名)に配布し、全員から回答をいただいた。

2-2. アンケート調査結果 ※抜粋 (同意見、理由ではない感想は枚数の都合で割愛)

<研修内容の理解度>

() 内の%はアンケート回答数に対する割合

質問1：I. 環境計量の仕事とは	
1. よく理解できた。	25名 (96 %)
2. 半分ほど理解できた。	0名 (0 %)
3. 理解できなかった。	1名 (4 %)

<よく理解できた理由>

- ・資料がシンプルで見やすかったです。
- ・環境計量の概要について、歴史的背景から最近の環境問題、環境法の観点から知ることができた。また、環境測定について国際化へ対応した精度管理、信頼性の確保、責任ある分析値の提供のために、常に環境問題、環境計量について学ぶ必要があると感じました。
- ・環境計量事業の歴史的背景と計量証明の言葉の意味をしっかりと理解することができた。
- ・環境計量の仕事についての動機が、目に見えない汚染を見える数値として表せるところに魅力を感じたことがあり、それを再確認しながら聞くことができた。機械に使われないように原理を理解しながら自分が何をやっているのかを明確にしながら仕事をしていきたい。
- ・基本となる流れから丁寧に抑えていただいたことで計量証明事業の必要性と結果に対する責任についてよく理解することができました。また、現状についてだけでなく、電子化や、国際的な動きへの対応など今後の業界についても考えるきっかけとなりました。
- ・過去の背景からこういった流れで環境計量が行われる契機となったのかがわかりやすく、また、現代に求められる測定や精度管理の国際化についてとても勉強になった。

<理解できなかった理由>

- ・環境汚染の実態を科学的・客観的数値で示す仕事であり、分析者は周辺環境を整え、化学計測に係る英知を深め、技術を磨く努力をし、多種多様な環境分析の国際的な精度管理に対応した責任ある分析値の提供が求められている。

質問2：II. 精度良い測定のために 3. 分析技術 —機器分析—	
1. よく理解できた。	14名 (54 %)
2. 半分ほど理解できた。	12名 (46 %)
3. 理解できなかった。	0名 (0 %)

<よく理解できた理由>

- ・様々な分析方法の原理と、それぞれが持つメリット・デメリットの説明が分かりやすく、サンプルの特徴に適した分析方法がどれなのかを理解できた。
- ・普段自分が使っていない機器の原理や特徴なども分かった
- ・環境計量の業務を行う中で、サンプリングを担当している為、サンプリングに対しての知識は吸収していましたが、サンプリングしたものに対しての対応、分析に関する知識にはかけていた

ところが多く、こういった分析を行っているかはまだしも、どういう特長があり、その分析を選択しているかなどの知識を得ることができました。

- ・分析機器の原理を知ることによってそれぞれに合った分析が可能であることが理解できました。講習内の内容の概要は理解することができましたが、GCの検出器にも多くの種類があり、名前と簡単な用途程度の理解のため今後知識を増やしていきたいと感じました。
- ・非常に詰め込まれた内容ではあったが要点がわかりやすく、理解しやすかった。測定機器ごとの違いや利点等、非常に勉強になった。こういった原理で機器を用いて分析を行っているのか改めて知ることができた。

<半分ほど理解できた理由>

- ・GCやHPLCの説明はすごく分かりやすかったです。しかし不確かさの評価のところは少し難しかったです。
- ・自分の担当している機器については理解が出来たが、扱ったことのない機器については想像ができない分、深い理解はできなかった。
- ・条件に合った正しい分析方法を理解したうえで精度よく行うことの重要性を学びました。各分析方法について理解度がまだあまり深まっていなかったため再度資料を見直し理解に努めたいと思います。
- ・分析技術に関して、弊社でも取り扱いのある分析法の基礎や原理を教えていただけてありがたかったです。駆け足気味だったことと自身の知識が浅いことにより、理解が追いついていない部分が多くあるので資料を読み返して復習したいと思います。
- ・大変早口で、ノートを取りながらの受講だと、資料のどの部分の説明をされているのか把握できなくなることが多々ありました。基礎知識はあった部分なので、復習として内容についていくことができました。

質問3：II. 精度よい測定のために

4. 検量線と標準物質

5. データの取り扱い

1. よく理解できた。	17名 (65 %)
2. 半分ほど理解できた。	9名 (35 %)
3. 理解できなかった。	0名 (0 %)

<よく理解できた理由>

- ・検量線におけるポイント設定と相関係数に関して、良い例、悪い例の解説がありよく理解できた。また、標準物質の劣化に気づくポイントとして傾きの管理が挙げられており、業務のなかで気をつけるポイントが理解できた。
 - ・測定値の信頼性を確保する上で、目的に合わせて検量線の適切な作製、扱い方が極めて重要であることを学ぶことが出来ました。
 - ・検量線を引いた際、これまで相関係数に着目しがちでしたが、講義で「標準の劣化やおかしくなっていると相関係数は1に近くても傾きがおかしくなっている場合がある」と聞き、傾きの管理にも気を付けるように注意しようと思いました。
 - ・検量線の種類、測定データの取扱（数値の丸め方、不確かさやその要因）についてよく理解できました。
 - ・検量線に関して、今後実務で作成することになると思うので、相関係数と濃度範囲やポイントの取り方との関係性の内容は大変参考になりました。また品質管理においてよく耳にしていたトレーサビリティについて図解で説明していただけて理解が深まりました。
- データの取り扱いに関して、外れ値が生じた際の判断方法、原因を推定するポイントは参考になりました。今後機器分析に従事することになった際に役立てたいと思います。
- ・検量線を取るときの注意事項が具体例と共に説明され、イメージしやすかった。

・検量線の取り扱いかたや作り方をなぜこのように扱わなければならないのか理由等はつきりとわかり、非常にわかりやすかった。値の扱い方も図等で視覚的にわかりやすかった。
環境分析の事例もいくつかご紹介いただき参考になりました。

<半分ほど理解できた理由>

- ・データの取り扱いに関しては有効数字の計算や数値の丸め方は理解できましたが、外れ値の検定や不確かさはわからない部分があったので、再度資料を見直したり、ほかの社員に質問して理解できるようにしたいです。
- ・統計的な話は数値や計算式が多くて少し難しかった
- ・検量線はポイント設定によりその信頼性、精度が変わってくる。濃度範囲やポイントの取り方が違う検量線は比較できないこと。データの取扱時には外れ値が存在しているかどうかの確認を必ずし、元データは別途個別で保管するようにしその所在を明らかにすることが重要だと感じました。
- ・検量線の引き方のポイントの取り方の異なる検量線の比較に意味がないことや、標準物質のトレーサビリティの仕組みは初めて知った内容でしたが、図も大変分かりやすく、理解することができました。一方でデータの取り扱い方に関してかたよりとばらつきの違いは実際のデータと照らし合わせて考える事で見える部分もあると感じた為、今後個人的に勉強したいと思います。

質問4：II. 精度よい測定のために

1. サンプリングの基礎

1. よく理解できた。	18名 (69 %)
2. 半分ほど理解できた。	8名 (31 %)
3. 理解できなかった。	0名 (0 %)

よく理解できた理由>

- ・サンプリングにおける測定不確かさへの影響の説明があり、サンプリングの重要性を理解できた。また、採取試料時の保存方法、試料の種類別採取方法が表でまとめられていて分かりやすかった。
- ・サンプリングが分析結果に影響を及ぼすため、適切なサンプリングを行う必要があるということ、サンプリング時の状況の記録を取ることも必要であることも理解しました。
- ・サンプリングは測定の始まりに当たる部分でその後の分析がいくら精度よくともサンプリングの精度管理ができていないと意味を持たなくなってしまうことが良く理解できました。今後業務に当たる際にはその現場に対応した適切な公定法を良く理解して業務に当たります。
- ・サンプリングする時の採取方法や保存方法がよくわかった。サンプリングするものの状態や場所の違いによって適切な方法が異なり、それらの方法が知ることができた。

<半分ほど理解できた理由>

- ・使用したことのない採水器や、やったことのない採水方法等を学ぶことができて勉強になりました。
- ・サンプリングを実際に多くこなしていないので、わからないことが多かったが、現場を知ることの大切さ、サンプリングの重要性や注意点について今後の業務に活かしていきたい。
- ・サンプリングの基礎の講義では、サンプリングの目的や水質・大気・土壌試料のサンプリングの採取方法や採水器、試料の保存などを学んだ。サンプリング自体経験がなく、知識が無かったが、多くの法や規格から成り立っていることに気付くことができた。分析の仕事をしている以上、現場でのサンプリングは行うので今回のテキストを参考にしていきたい。
- ・環境計量やサンプリングに関する諸々の器具や決まりごとについてご紹介いただき、参考になりました。これからの業務に関して必須となる知識だと思いますのでありがたく拝聴しました。文字ばかりのスライドが多いことがやや気になりました。

質問5：Ⅱ. 精度よい測定のために	
2. 分析技術 ー化学分析ー	
1. よく理解できた。	23名 (88 %)
2. 半分ほど理解できた。	3名 (12 %)
3. 理解できなかった。	0名 (0 %)
<p><よく理解できた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度管理の基本の中で、特に分析環境管理に関してよく理解できた。ガラス製化学用体積計、イオン交換水や蒸留水などの“水”などの基礎的な部分から説明があり理解が深まった。 ・分析を行っていて疑問が生じた場合は、SOPを読み返したり、基本に帰り公定法を読み返すことや、文献で勉強を繰り返すことが重要だと感じました。 ・精度を求めることの意義や、どういった点で管理の質が影響するのかについて学べ、これからの分析環境の管理にはより気を配りたいと思った。 ・環境汚染や前処理など分析の基礎が分かった ・試験室（試験環境）、使用器具、試薬、水など適切な状態・規格を保つことで精度いい分析を行えるように分析に影響を与えるリスクを排除することが重要だと理解しました。 ・環境汚染管理に関して、普段はあまり強く意識できておりませんでした。分析装置や器具の取り扱いに注意しなければと感じました。ガラス製体積計の受用と出用については、言われてみればそうだと感じましたが、知識として知らなかったため今後使用する際に役立てたいです。 ・精度の良い測定を行うための器具の取り扱い、水の使い分け等は詳しい内容を知らなかった部分が多く大変勉強になりました。また PCB の高濃度からの汚染の話は具体的で想像もしやすく印象に残りました。 ・環境化学分析にかかわりの深い分析技術について原理からご説明いただき参考になりました。分析機器を扱うにあたって基本的な原理を理解することは大切であると感じております。 <p><半分ほど理解できた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度の良い測定によってお客様の満足や組織の社会的信用を得ることができることが分かりました。このためには試験室の3Sや試験器具の洗浄方法、使用する純水、超純水の特性、試薬の保管、装置の管理など、注意すべきことが多くあり、覚えられない物もあったため、再度資料の確認や、自社でどのようなことをしているかを知りたいと思いました。 ・分析につかう道具の良い点、悪い点をしっかり把握して分析対象物に合わせて判断できるようにしたい。 ・精度と正確さの違いから始まり、Iと合わせて何が求められているのか、どちらを目指しているのかから、普段どのように精度管理を行っているかを知りました。普段行っている管理のなかでも、より詳しく説明を得ることができ、学びとなりました。 	

質問6：Ⅲ. 労働安全衛生	
1. よく理解できた。	23名 (88 %)
2. 半分ほど理解できた。	3名 (12 %)
3. 理解できなかった。	0名 (0 %)

<よく理解できた理由>

- ・職場で発生する災害は、職場の不安全な状態や不安全な行動、管理・監督上の欠陥によって起こることが分かりました。今回の研修で紹介された事例の中には、高所作業など、自分の職場にも当てはまるものがあったのでこれらを共有して、可能な限り不安全な状態、行動を減らしたいと思いました。
- ・具体例を多く知れて分かりやすかった。仕事で扱うものの危険性を十分理解して、慢心せず安全を心がけていきたい。
- ・労働災害は全て人災なので、絶対安全ということは無いことを肝に銘じて働くように努めようと改めて思いました。
- ・基本的な安全や衛生について理解できたが、化学物質を扱う職場の安全衛生についてより詳しく聞きたかった
- ・色々な角度から労働安全衛生についてご説明いただき、危険があらゆるところに潜んでいることを再認識しました。私は現在アスベストの分析に従事しておりますが、胆管がんの例はアスベストにも当てはまると感じ、局所排気装置の活用や保護具の着用を徹底する必要性を改めて感じました。
- ・基本的な内容を分かりやすく説明していただいたので、よく理解できました。もう少し時間に余裕があったら、業務現場のケースに即したお話が聞けたかと思いました。
- ・実際のニュースや図を用いた説明が多く、楽しみながら感覚的に理解できた。
- ・本研修会において、環境計量に関するだけでなく、業務を行う上でより基本的な事項である労働安全衛生についての講義が含まれていることは意義深いことであると感じました。ときおり興味深いエピソードも交えてご講義いただいたので最後まで集中して拝聴することができました。

<半分ほど理解できた理由>

- ・少しスピードが速かった。
- ・また経験も浅く、注意を払って業務を行っているが、今後慣れが生じてきた際に、より気を引き締めていかなければと思った。
- ・職場における事故防止、安全に配慮した労働安全衛生法に基づき労働者の安全と快適な作業環境の形成を促進するもの。しかしどれだけ法律が整備されていても作業員自身が安全に気を付けなければ事故に繋がるので個人間での確認が目標になります

質問7：研修会全般についての感想

1. 内容が難しい。	1名 (4 %)
2. 適切である。	24名 (92 %)
3. 内容が簡単すぎる。 (更に高レベルの内容でもよい。)	1名 (4 %)

<質問9の回答より転載>

- ・もう少し、発展した研修も受けてみたいと感じた。
- ・基本的な内容で分かりやすかった
- ・自分が普段行っている分析の原理や特性について学ぶ良い機会となりました。また、分析業務における注意点を改めて認識し、今後も精度よく、安全に業務を行っていかなければならないと感じました。
- ・今回の研修では、新しく学んだことが多くあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、理解しきれていないこともあるため、それらの復習をすることと、学んだことを業務に生かせるようにしたいと思いました。
- ・分析の原理・原則や分析をする起源を公害などに関連付けて説明していただいたので分かりやすかった。自職場で使用している分析機器が分析成分を出すまでのプロセスを学ぶことができ

た。

- ・講義内容に大変満足しております。その道に精通した方々のお話を聞くことができるとても良い研修でした。
- ・今後意識していくことが明確になったと思う。
- ・実際の分析についての学びが多く、大変勉強になりました。
化学計測に係る知識や技術を研鑽し、今後の分析業務に活かしていきたいと思います。
- ・環境計量について幅広い知識を学ぶことができとても勉強になりました。現在はアスベスト分析を担当しているため個人としては環境計量には当てはまらないですが、社内で対応している計量証明について理解を深めることができました。
- ・新任者研修として基本的な考え方、分析にまつわる知識を広い範囲に渡って押さえることができ大変勉強になりました。時間の限られた中では厳しい部分もありながら、現在の動向や業界での実情を知れたことが興味深かったです。
- ・環境測定の基礎を学ぶ機会になり、非常に参考になった。
- ・2日間の研修の中で環境測定分析の重要なポイントを広く学べることができたので、非常に良い研修となった。
- ・環境分析の初心者にとって基礎的で有益な情報が得られる有意義な研修会でした。ただ部分的に解説が単調になりがちな場面もあり、内容が伝わりにくかったこともあるように感じました。

質問8：環境分析に関して、今まで学んだことがありますか

1. 環境分析について学んだことがある。	10名 (39 %)
2. 環境について学んだことがある。	5名 (19 %)
3. 分析について学んだことがある。	6名 (23 %)
4. 環境分析、環境、分析について初めて学んだ。	5名 (19 %)

質問9：オンライン研修会についての感想

1. 満足	16名 (61 %)
2. ほぼ満足	9名 (35 %)
3. 普通	1名 (4 %)
4. やや不満	0名 (0 %)
5. 不満	0名 (0 %)

<満足、ほぼ満足の理由>

- ・自社で受けられるため、移動にかかる手間が省けるのが良いと感じる。
事前にデータをダウンロードする必要はあるが、個人的にはそこまで煩わしいとは感じなかった。教科書があるならば事前に送付いただけると、資料を印刷する必要もなかったかと感じるため、その点においては今後改善して頂きたい。
- ・オンラインでの研修であったが、チャットを用いて質問の場が設けられており疑問点を解消できた。

- ・午後からの開催であり、午前中の時間を有効に使うことができたため、オンラインの形式で良かったと思う。
 - ・自社業務の続きで受講できるので、スケジュール調整がしやすく、とても有りがたい形式でした。
 - ・研修がオンラインであることで、リラックスして受講することができ、内容をより理解することが出来たと思う。
- <普通の理由>**
- ・オンライン上では普通の手速であったが実際に講義を対面で受けると付いていけるのか少し心配です。

質問 10：日環協 中部支部・愛環協の開催する研修会のオンライン研修の今後について

1. オンライン研修を増やしてほしい。	15名 (57 %)
2. オンライン研修は避けてほしい。	1名 (4 %)
3. 通常の会場研修+オンライン研修(中継)としてほしい	9名 (35 %)
4. その他	1名 (4 %)

<オンライン研修を増やしてほしい理由>

- ・参加しやすいため
- ・皆が勉強する良い機会だと思うから。会社での業務の合間に、受講できるから。
- ・今回初めて日環協 中部支部・愛環協の開催する研修会に参加しました。また他の講義も受けてみたいと思いました。
- ・移動する必要があるため研修時間外で業務に取り組めることや、質問する際に声を出す必要がないため、質問しやすいと感じました。
- ・座学であるならば、場所の制約がないオンライン研修が良いと思います。資料も見やすく、終了後はすぐに業務に取りかかることができ、メリットが多いと思います。
- ・会場までの移動時間と交通費を節約できるため。
- ・移動の負担がない分参加しやすいとおもうため。
- ・スケジュール調整や交通費等に悩まされずに参加できるので、ぜひ増やしてほしいです。対面の方が理解しやすい部分については通常の研修が残してほしいです。
- ・オンラインで受講する形式は研修会に適していると思うから。
- ・業務の合間に受けることができ、非常に便利だった。

<オンライン研修は避けてほしい理由>

- ・他者の新任者と面識を持ちたいから。

<通常の会場研修+オンライン研修(中継)としてほしい理由>

- ・オンライン研修はぜひとも続けて欲しい。ただし、他社様の状況によっては会場の設営やオンラインの方が困難な場合もあるかと伺えるので、臨機応変なご対応をお願い致します。
- ・オンライン研修はどうしても一方通行になってしまう面があるため、会場研修があると幸いです。しかし、オンライン研修は社内で受講ができ利便性が良いため、中継として併用して欲しいと思います。
- ・会場での研修を受講したことが無い為。
- ・選べる方法で参加できるとうれしいです。
- ・オンラインで受講できるのは移動時間を削減できる点においてはありがたいですが、同じ空間で直接講師の方からご指導いただく方が、我々の理解度ををはかる、質問しやすい雰囲気等の観点に置いては良いのかなと感じました。

- ・通信環境や事前の資料配布、ZoomURL の告知等丁寧に準備いただき、スムーズに受講させていただくことができたため、オンラインでも問題は無いと感じました。一方で私個人としては対面での他の受講者を含めた雰囲気共有や質問のしやすさを魅力的に感じます。
- ・今回はオンラインの研修だったが、実際に会場に足を運んで生で講義を聴くことが雰囲気も知れるので、会場研修とオンラインの併用が良いと思う。
- ・会場研修であればやはり聴講者の反応をみることで講師の方の公演の仕方も変化させることもできると思います。オンラインのみでは解説もスライドを消化するだけになったり、単調になりがちであるように感じます。しかし移動時間に都合のつかない方もいると思いますので、オンラインは残していくべきだと思います。

<その他>

- ・機会があれば今後も参加したい。

質問 11：その他の意見、要望等

- ・安全衛生の講義の時クイズが出ていたので、他の講義の時もクイズを出してもいいと思いました。
- ・資料（レジュメ）については膨大なページ数があり印刷にはかなりの手間がありました。教科書があるならば告知頂くか、事前配布をして頂けると用紙が削減出来て良いのではないかと存じます。
- ・分析成分同士の関係性について知りたい。
- ・これから環境測定、分析に関わる者としての基礎内容を分かりやすくまとめていただき大変勉強になりました。今後もよろしくお願いします。

2. まとめ

昨年に引き続き、今年の開催はオンライン開催のみとした。昨年度発生した通信エラー事例を元に Wi-Fi の複線化等のトラブル対策も実施した。事務局側でのエラーの発生はなく、受講者からのクレームもなかった。

研修会内容全般の感想は「簡単～適切である」が 96% を占めた。各講義でも「よく理解できた」「半分ほど理解できた」が 96% 以上で、ほとんどの受講者が半分以上理解できたとの回答であった。「Ⅱ. 精度良い測定のために」の各研修での「よく理解できた」の割合は次の通り。

- | | |
|---------------|------|
| 1. サンプルングの基礎 | 69 % |
| 2. 分析技術－化学分析－ | 88 % |
| 3. 分析技術－機器分析－ | 54 % |
| 4. 検量線と標準物質 | 65 % |
| 5. データの取扱い | 65 % |

受講により自分の仕事についての理解の深化や重要性の再認識、また未知の分野への理解を広げられた等の意見が多くあり、「新任者研修会」としての目的は達成できたと考える。

また、新型コロナウイルス感染症が 5 月 8 日に 5 類感染症に移行後、初の研修会開催であったが、オンライン開催への要望はハイブリット開催も含めると 92% と依然として高い。しかしながら、感染症対策としての理由よりは、移動時間や交通費の節約、業務との調整のしやすさ等の「受講のしやすさ」が目立った。

一方、対面開催への希望も引き続きあり、今後の開催についての参考としたい。

別紙1 アンケート用紙

令和5年度 環境測定分析新任者研修会アンケート			
		2022年6月23日	
質問事項		回答（理解度）	
		・理解度を「選択肢」から選んでいただき、その理由を具体的に記述してください。	
質問1	I.環境計量の仕事とは	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問2	II.精度良い測定のために 3.分析技術－機器分析－	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問3	II.精度良い測定のために 4.検量線と標準物質 5.データの取り扱い	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問4	II.精度良い測定のために 1.サンプリングの基礎	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問5	II.精度良い測定のために 2.分析技術－化学分析－	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問6	III.労働安全衛生	理解度	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問7	研修会全般についての感想	選択肢	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
質問8	環境分析に関して、今までに学んだことがありますか	選択肢	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
質問9	オンライン研修会についての感想	選択肢	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由	
質問10	日環協 中部支部・愛環協の開催する 研修会のオンライン研修の今後について	選択肢	このセルをクリックして選択肢から選んでください。
		理由 要望	
質問11	その他の意見、要望等 (具体的に記述してください)		

ご協力ありがとうございました。